

内令提
要登載



内令第二千二百四十九號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦、砲艦ノ部中「舞子」ノ下ニ「鳴海」ヲ加フ

驅逐艦、一等卯月型ノ項中「長月」ヲ削ル

潜水艦、二等呂百型ノ項中「呂號第百三」ヲ削ル

海防艦、占守型ノ項中「六連」ヲ削ル

掃海艇、第十三號型ノ項中「第十六號」ヲ削ル

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第二千二百五十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十八年十一月一日
内務省
第九〇七號

内令

二三四九

0634

内令

三重海軍航空隊

主計科尉官	主計中少佐	軍醫科尉官	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫中佐	兵科尉官	少佐、大尉	中少佐	中少佐	大佐
隊附	分隊長	隊附	分隊長	教官	教官	隊附 教官兼分隊長	分隊長兼教官	教官	教官
一人	一人	八人	一人	一人	十八人	三人	一人	四人	三人
								一人	一人

二三五〇

0635

内令
要登載

内令第二千二百四十九號ノ二

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特務艇、敷設艇測天型ノ項中「平島」ヲ、同驅潛特務艇第一號型ノ項中「第五號」
「第十二號」ヲ、同驅潛特務艇ノ部中「第百十一號」ヲ削ル

(内令提要卷三、四二頁参照)

内令

二三四九之二

0636

昭和十八年十一月二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員及備考ヲ左ノ如ク改ム

大	中	中	中	少	兵	軍	軍	主
中	少	少	佐	佐	科	醫	醫	計
佐	佐	佐	尉	尉	尉	尉	尉	尉
分遣隊長	教官	教官	隊附兼教官	隊附兼教官	隊附兼教官	隊附	隊附	隊附
一人	一人	三人	三人	一人	一人	一人	二人	二人

内令

一三五三

0639

中少尉(水)、兵曹長	隊附兼教官(教員)	四人	
中少尉(飛)、飛行兵曹長	隊附兼教官(教員)	二人	
中少尉(整)、整備兵曹長	隊附兼教官(教員)	三十一人	
中少尉(機)、機關兵曹長	隊附兼教官(教員)	三人	
中少尉(工)、工作兵曹長	隊附兼教官(教員)	四人	
衛生中少尉、衛生兵曹長	隊附	一人	
主計中少尉(主)、主計兵曹長	隊附	二人	
兵曹、水兵		七十二人	掌砲兵 高 掌帆兵 高 掌信號兵 高 掌暗號兵 高 掌測的兵 高 掌電信兵 高 掌氣象兵 高 偵探 高 一三三
飛行兵曹		九人	掌飛行兵 偵探 一四三 一四三 一三三
整備兵曹、整備兵		四百三十四人	掌整備兵 高 掌航空兵器兵 高 射爆 高 寫真 高 一五八〇 一三三

0640

機關兵曹、機關兵

五十九人

掌機兵	主機
鑛	普高普高
掌內火兵	普高
三	一
掌電機兵	普高
二六	

工作兵曹、工作兵

三十九人

掌工兵

鑄造	普高
航空板金	普高
二五	二五
木具	普高
五五	普高
航空熔接	普高
二二	
機械	普高
二二	
銀冶	普高
仕上	普高

衛生兵曹、衛生兵

二十一人

主計兵曹、主計兵

七十一人

掌經理兵	普高
掌衣糧兵	普高
七三六四	

備考 兵曹六人、飛行兵曹九人、整備兵曹百八十人、機關兵曹六人及工作兵曹二十一人ハ教員ニ

充ツ

参照 前記内令ハ追濱海軍航空隊(知多分遣隊職員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二千二百五十二號

昭和十八年内令第八百二十五號中左ノ通改正ス

内令

二三五五

0641

丙 令

三三五六

昭和十八年十二月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大井海軍航空隊（上海分遣隊及青島分遣隊ノ職員ニ充ツベキモノ）ノ部中表ヲ左ノ如ク改ム

主計科尉官隊附	主計中少佐分隊長	軍醫科尉官隊附	軍醫中少佐分隊長	兵科尉官 隊附兼官	少佐、大尉	中少佐 飛行隊長 兼教官	大 中 佐 分遣隊長	上海分遣隊	青島分遣隊
					兼分隊長				
一人	一人	二人	一人	七人	十人	三人	二人	一人	一人

0642

内令

飛行兵曹	飛 行 兵 曹	中少尉(水)、兵曹長	隊附	二人
	隊附兼教官(教員)	三人	二人	
飛行兵曹	飛 行 兵 曹	中少尉(飛)、 兵曹長	隊附兼教官(教員)	三十六人
	隊附兼教官(教員)	三人	二人	
飛行兵曹	飛 行 兵 曹	中少尉(整)、 兵曹長	隊附兼教官(教員)	十人
	隊附兼教官(教員)	三人	二人	
飛行兵曹	飛 行 兵 曹	中少尉(機)、 兵曹長	隊附	二人
	隊附	二人	二人	
飛行兵曹	飛 行 兵 曹	中少尉(工)、 兵曹長	隊附	二人
	隊附	二人	二人	
飛行兵曹	飛 行 兵 曹	主計中少尉(主)、 兵曹長	隊附	二人
	隊附	二人	二人	
飛行兵曹	飛 行 兵 曹	兵曹、 水兵	九十八人	掌砲的兵 掌測的兵 掌帆兵 掌信號兵 掌電信兵 掌暗號兵 掌氣象兵 普高普高普高普高普高普高 二二二二二二二二 四一一一九〇六四二一一二
	九十八人	掌砲的兵 掌測的兵 掌帆兵 掌信號兵 掌電信兵 掌暗號兵 掌氣象兵 普高普高普高普高普高普高 二二二二二二二二 四一一一九〇六四二一一二	九十八人	掌砲的兵 掌測的兵 掌帆兵 掌信號兵 掌電信兵 掌暗號兵 掌氣象兵 普高普高普高普高普高普高 二二二二二二二二 四一一一九〇六四二一一二

二三五七

0643

内令

<p>衛生兵曹、衛生兵</p>	<p>工作兵曹、工作兵</p>	<p>機關兵曹、機關兵</p>	<p>整備兵曹、整備兵</p>
<p>十三人</p>	<p>三十七人</p> <p>掌工兵</p> <p>木具 熔接 航板 航空 仕上 機械 鍛冶</p> <p>普高 普高 普高 普高 普高 普高 普高</p> <p>八五三二五三三二二二</p>	<p>六十人</p> <p>掌電機兵 掌內火兵 掌機兵</p> <p>普高 普高 普高</p> <p>二二三 普高 普高</p>	<p>六百十三人</p> <p>掌整備兵 掌航空兵</p> <p>射爆 雷爆 寫真 光學</p> <p>普高 普高 普高 普高</p> <p>四四一六〇</p>
<p>十三人</p>	<p>三十七人</p> <p>掌工兵</p> <p>木具 熔接 航板 航空 仕上 機械 鍛冶</p> <p>普高 普高 普高 普高 普高 普高 普高</p> <p>八五三二五三三二二二</p>	<p>六十人</p> <p>掌電機兵 掌內火兵 掌機兵</p> <p>普高 普高 普高</p> <p>二二三 普高 普高</p>	<p>六百十三人</p> <p>掌整備兵 掌航空兵</p> <p>射爆 雷爆 寫真 光學</p> <p>普高 普高 普高 普高</p> <p>四四一六〇</p>

二三五八

0644

主計 兵曹、主計 兵 五十三人

掌理兵 五三
普高 五二

五十三人

掌理兵 五三
普高 五二

備 一 兵曹二十五人、飛行兵曹百四十六人及整備兵曹三十四人ハ教員ニ充ツ

考 ノトス 二 本人員中上海分遣隊ノ特務士官以下ハ佐世保鎮守府在籍者ヲ以テ之ニ充ツルモ

参照 前記内令ハ假令浦海軍航空隊(千歳分遣隊及三澤分遣隊職員ニ充ツベキモノ)等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二千二百五十三號

昭和十八年内令第二千百十五號中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

第四艦隊司令部及第十一航空艦隊司令部ノ項ヲ左ノ如ク改ム

第四艦隊司令部

兵 科 尉 官 附 二人

中少尉(飛)、飛行兵曹長 附 三人

内令

二三五九

0645

中少尉(整)、整備兵曹長	附	二人
飛行兵曹		六十五人(掌飛行兵)
整備兵曹、整備兵		百七十四人(掌整備兵 五四)
衛生兵曹、衛生兵		二人
主計兵曹、主計兵		五人
第十一航空艦隊司令部		
少佐、大尉	附	一人
兵科尉官	附	一人
中少尉(飛)、飛行兵曹長	附	三人
中少尉(整)、整備兵曹長	附	二人
飛行兵曹		九十一人(掌飛行兵)
整備兵曹、整備兵		二百十六人(掌整備兵 九六)
衛生兵曹、衛生兵		二人
主計兵曹、主計兵		七人(掌經理兵 一)

0646

参照 前記内令ハ聯合艦隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第二千二百五十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第千二百四十號中「佐世保鎮守府」ヲ削ル

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府(管下航空隊及航空基地設立準備ニ充ツベキモノ)

大 佐 出仕 一人

大 尉(水) 附 一人

中少尉(水)、兵曹長 附 一人

特務士官(整)、整備兵曹長 附 一人

特務士官(機)、機關兵曹長 附 一人

特務士官(工)、工作兵曹長 附 一人

衛生中少尉、衛生兵曹長 附 一人

内令

二三六一

0647

内令

二三六二

特務士官(主)、主計兵曹長 附 二人

整備兵曹 一人(掌整備兵)

機關兵曹、機關兵 一人(特修兵適宜)

工作兵曹、工作兵 四人(掌工兵(金工 木具 三))

主計兵曹、主計兵 三人(掌經理兵 掌衣糧兵 一)

水兵、機關兵 三人

参照 昭和十八年内令第千三百四十號ハ、横須賀鎮守府 吳鎮守府 佐世保鎮守府 (管下航空隊及航空基地設立準備ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二千二百五十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十七警備隊

0648

中少尉(水)、兵曹長	隊附	三人
兵曹、水兵		三十三人
機關兵曹、機關兵		六人
衛生兵		一人
主計兵		一人
		(特修兵適宜)

内令第二千二百五十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十一年内令第四百五十八號、昭和十三年内令第四百七十二號、昭和十七年内令第千三百六十六號、昭和十八年内令第千六百十二號及同年内令第千九百九十七號中海軍兵學校ノ部ヲ削ル

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍兵學校

中少將 副校長 一人

内令

二三六三

0649

内令

少	大	中	少	大	軍醫	軍醫	軍醫	軍醫	主計
將	中	少	佐、大	尉	少佐、軍醫	少佐、軍醫	尉官	尉官	少佐、主計
尉	佐	佐	尉	尉	大尉	大尉	尉官	尉官	大尉
教頭	監事兼教官	監事兼教官	監事兼教官	分隊長	附	附	附	附	附兼教官
兼務一人	兼務一人	兼務一人	兼務一人	兼務十一人	兼務一人	兼務一人	兼務二人	兼務二人	兼務一人
一人	二人	二人	二人	六人	八人	一人	二人	二人	二人

二三六四

0650

主計大尉	分隊長	兼務二人
技術少佐、技術大尉	教官	五人
教	授	教官
中少尉(水)、兵曹長	附兼教官(教員)	十一人
中少尉(機)、機關兵曹長	附兼教官(教員)	四人
衛生中少尉	附兼教官	一人
主計中少尉(主)	附兼教官	一人
主計兵曹長		一人
兵曹	(教員)	二百二十七人
整備兵曹	(教員)	一人
機關兵曹	(教員)	三十七人
衛生兵曹	(教員)	三人
兵曹、水兵		三百人

掌砲兵又ハ掌測的兵五六、掌水雷兵一〇
 掌機雷兵三、掌水測兵二、掌帆兵(艦七五)
 掌信號兵三六、掌電信兵三一
 掌暗號兵三、掌氣象兵八
 掌機兵(機械)五八
 掌内火兵一四、掌電機兵一〇
 掌砲兵一六、掌測的兵六、掌水雷兵一四
 掌機雷兵一〇、掌帆兵(艦一四)
 掌信號兵一七、掌電信兵一〇、掌氣象兵四

内令

一三六五

0651

内令

二三六六

整備兵曹、整備兵

十三人

機関兵曹、機関兵

百七十九人

(掌機兵) 機 六
掌内火兵 四〇、掌機兵 三

工作兵曹、工作兵

十三人

(掌工兵) 機 一、仕上 三、板金 三
機接 一、舟艇 七

衛生兵曹、衛生兵

二十四人

主計兵曹、主計兵

六十人 (掌經理兵一〇、掌衣糧兵 八)

参照

昭和十一年内令第四百五十八號 (海軍兵學校等ノ人員臨時増減ノ件)
昭和十三年内令第四百七十二號 (海軍兵學校等ノ人員臨時増減ノ件)
昭和十七年内令第三百六十六號 (大湊警備府等ニ人員臨時増置ノ件)
昭和十八年内令第八十九號 (海軍兵學校ニ人員臨時増置ノ件)
同年内令第千二百六十六號 (海軍兵學校等ニ人員臨時増置ノ件)
同年内令第千六百十二號 (海軍兵學校等ニ人員臨時増置ノ件)
同年内令第千九百九十七號 (海軍兵學校等ニ人員臨時増置ノ件)

内令第二千二百五十七號

昭和十八年内令第千四百三十二號特設砲艦でりい丸職員表ノ件中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提
要登載

0652

別表中機關兵「十九」ヲ「二十一」ニ、兵「百四十三人」ヲ「百四十五人」ニ改ム

参照 前記内令ハ特設砲艦デリイ丸職員表ヲ定ムルノ件ナリ

内令第二千二百五十八號

昭和十八年内令第九百五十六號中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「中少尉(水)、(機)、兵曹長、機關兵曹長 隊附 四人(横須賀、吳、佐世保、舞鶴) 鎮守府在籍者 各一」ヲ「中少尉(水)、(機)、兵曹長、機關兵曹長 隊附 七人(横須賀、吳、佐世保、鎮守府在籍者 各二)」ニ改ム

参照 前記内令ハ横須賀海軍警備隊(武装商船ニ關スル業務ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二千二百五十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二二六七

0653

内令

二二六八

東京海軍通信隊

主計兵 二人

内令第二千二百六十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一海軍燃料廠

兵 曹、水 兵 三人

内令第二千二百六十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二一設營隊

0654

内令
要登載

内令第二千二百五十七號ノ二

大正九年内令第二百七十三號敷設艇乗員標準等ノ件中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「敷設艇平島、澎湖、石埼、鷹島、濟州、新井埼乗員標準」ヲ「敷設艇澎湖、石埼、鷹島、濟州、新井埼乗員標準」ニ改ム

驅潛特務艇乗員標準中「第百十一號」ヲ削ル

(内令提要卷一、四六六ノ七頁参照)

内令

二三六七ノ二

0655

第二百十二設營隊

兵 曹、水 兵

二人（掌電信兵一）

内令第二千二百六十二號

昭和十七年内令第二千三百十六號ハ之ヲ廢止ス

（外）

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ吳鎮守府（陸軍徵備船秋津丸ニ乗船セシムベキモノ）ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二千二百六十三號

昭和十七年内令第九百十二號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部中海軍機雷學校ノ項「六」ヲ「七」ニ、海軍航海學校ノ項「五」ヲ「七」ニ改メ
多賀城海軍工廠ノ項ノ次ニ

内 令

二三六九

0656

内令

二三七〇

第一海軍
衣櫛廠

ヲ、横須賀潜水艦

基地隊ノ項第二欄ニ「一」ヲ、海鷹ノ項ノ次ニ

千代田
砲通三
一 三 工 一 一 二

ヲ、伊號第四十一

潜水艦ノ項ノ次ニ

伊號第四十
四潜水艦

ヲ加フ

吳鎮守府ノ部中海軍機雷學校ノ項「五」ヲ「六」ニ、海軍航海學校ノ項「三」ヲ「五」ニ、壹岐ノ
項「機一」ヲ「砲
機二」ニ改メ第二十五特別根據地隊ノ項ノ次ニ

第二十六特
別根據地隊

ヲ、第二百十二設

營隊ノ項ノ次ニ

第二百十
三設營隊

ヲ加ヘ千代田及六

0657

内令提
要登載

連ノ項ヲ削ル

佐世保鎮守府ノ部中海軍航海學校ノ項「四」ヲ「五」ニ、擇提ノ項「機一」ヲ「機二」ニ改メ第六
十一警備隊ノ項第四欄ニ「一」ヲ、第四十八掃海隊ノ項ノ次ニ

第六潜水
艦基地隊

ヲ加ヘ長月及長沙

丸ノ項ヲ削ル

舞鶴鎮守府ノ部中海軍航海學校ノ項「二」ヲ「三」ニ改ム

備考末尾ニ左ノ一號ヲ加フ

十一 第一海軍衣糧廠ノ主計科分隊長ハ被服部部員兼支廠廠員ニ充ツルモノトス

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

内令第三千二百六十四號

海軍特別根據地隊ノ所管、名稱及所在地ノ件中左ノ通改正セラル

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二三七一

0658



内令

二三七二

吳鎮守府	第二十五特別根據地隊	聯合艦隊司令長官ノ定ムル地	ヲ
吳鎮守府	第二十五特別根據地隊	聯合艦隊司令長官ノ定ムル地	ニ改ム
吳鎮守府	第二十六特別根據地隊	聯合艦隊司令長官ノ定ムル地	

(内令提要卷一、三八ノ五頁参照)

内令第二千二百六十五號

昭和十七年内令第四十二號海軍特別根據地隊職員表ノ件中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍特別根據地隊職員表其ノ十一ヲ海軍特別根據地隊職員表其ノ十二トシ海軍特別根據地隊職員表其ノ十二ヲ海軍特別根據地隊職員表其ノ十三トス
海軍特別根據地隊職員表其ノ十一ヲ別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

0659

(内令提要卷一、四五二ノ三三頁参照)

内令第二千二百六十六號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

砲艦定員表其ノ十ヲ別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、四一八ノ三七頁参照)

内令第二千二百六十七號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十三砲艦ノ部中舞子ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

内令

二三七三

0660

(別表)

海軍特別根據地隊職員表

共ノ十一

(昭和十八年内令第二千二百六十五號)

考 備	計		隊		隊		分隊長		主計長		軍醫長		副官		參謀		副長		司令官		第二十六
	特務士官	士官	中尉(水)	中尉(機)	主計中尉	軍醫中尉	中尉	少佐	少佐	主計中尉	軍醫中尉	中尉	少佐	少佐	大佐	大佐	中佐	中佐	中少將	中少將	
一 副長及副官ハ參謀ノ、分隊長ハ軍醫長、主計長及隊附ノ兼務トス 二 隊附少佐、大尉中一人ハ大中尉(水)ヲ以テ代フルコトヲ得 三 中少尉(水)、兵曹長及中少尉、中少尉(機)、機關兵曹長ハ夫々合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得 四 下士官及兵ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減シ又他科ノ下士官及兵ヲ以テ充ツルコトヲ得 五 特修兵ハ適宜トス	内兼務七人		兼務一		兼務一		兼務一		兼務一		兼務一		兼務一		兼務一		兼務一		兼務一		共ノ十一
	兵	下士官	准士官	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	主計兵	工兵	機兵	兵	兵	兵	兵	兵
		百八十六人	五十六人	六人	九	四	六	十六	百五十一	二	二	三	十	三十九	二	一	一	三			第二十六

0662

考 備	計			乘組主計科尉官	乘組軍醫科尉官	乘組兵科尉官	艦長少佐、大尉	砲 艦 定 員 表 其ノ十	鳴 海				
	士			一	一	二	一						
	官			主計兵	衛生兵	工作兵	機關兵			水兵	主計兵	機關兵	兵曹
五人			准士官	下士官	兵	二	一	一	九	二十一	一	一	一
三			三十四人	十五人	三人	二	一	一	九	一	一	一	一

一 兵科尉官ノ中一人ハ航海長兼分隊長、一人ハ機關長兼分隊長、軍醫科尉官ハ軍醫長兼分隊長、主計科尉官ハ主計長兼分隊長ノ職務ヲ主トシテ行ハシムルモノトス
 二 兵曹長ハ掌砲長兼掌運用長ニ充ツ
 三 機關兵曹長ハ掌機長ニ充ツ

0663

内令撰
要登載

内令第二千二百六十九號
特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十四一等驅逐艦ノ部中「長月」ヲ削ル
特修兵配置表其ノ十七二等潛水艦ノ部中「第百三」ヲ削ル
特修兵配置表其ノ十七ノ二海防艦ノ部中「六連」ヲ削ル
特修兵配置表其ノ十八掃海艇ノ部中「第十六號」ヲ削ル

(内令提要卷一、四三〇ノ二五頁参照)

内令第二千二百七十號

特設海軍航路部等ノ定員ノ件中左ノ通改正セラレ

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二三七五

0664

別表第八及別表第九ノ二ヲ各別表ノ如ク改ム

(別表三葉添)

(内令提要卷一、四五四ノ七頁参照)

内令
提
要
登
載

内令第二千二百七十一號

特設海軍航路部等ノ特修兵配置表ノ件申左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表中第一海軍軍需部ノ項掌衣糧兵ノ欄「一〇」ヲ「一一」ニ改メ海南海軍軍需部ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、四五四ノ二頁参照)

内令
提
要
登
載

内令第二千二百七十二號

海軍特別陸戰隊申左ノ通改正セラル

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0665

内令撰
要登載

第三條第一項及第十條第一項中「機關長」ヲ「内務長」ニ改ム

別表第一中「機關長 機關少佐」ヲ「内務長 少佐」ニ、同表備考第五號中「機關長」ヲ「内務長」ニ改ム

別表第二中「機關長 機關少佐」ヲ「内務長 少佐」ニ、同表備考第四號中「機關長」ヲ「内務長」ニ改ム

附則

本令ハ昭和十八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三二頁參照)

内令第二千二百七十三號

海軍特別根據地隊令中左ノ通改正セラル

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四條第一項中「機關長」ヲ「内務長」ニ改メ「機關科」及「機關科工作科」ヲ削リ同條第二項中

内令

二三七七

0666

内令
要登載

内令

二三七八

「工作長並ニ」ヲ削ル

第十條第一項中「機關長、工作長」ヲ「内務長」ニ改ム

別表第一及別表第二中「機關長 機關中佐」ヲ「内務長 中佐」ニ、同各表備考第六號中「機關

長」ヲ「内務長」ニ、「機關大佐」ヲ「大佐」ニ改メ同備考第二號ヲ削リ第三號ヲ第二號トシ以下順

次繰上グ

附則

本令ハ昭和十八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三七頁参照)

内令第二千二百七十四號

昭和十七年内令第四十二號海軍特別根據地隊職員表ノ件中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍特別根據地隊職員表其ノ一中「機關長 機關中少佐」ヲ「内務長 中少佐」ニ改ム

0667

内令
要
登
載

海軍特別根據地隊職員表其ノ四中「機關長兼分隊長 機關中少佐」ヲ「内務長兼分隊長 中少佐」ニ改ム

海軍特別根據地隊職員表其ノ六中「機關長 兼分隊長 機關中少佐」ヲ「内務長 兼分隊長 中少佐」ニ改ム

海軍特別根據地隊職員表其ノ十二及其ノ十三中「機關長 兼分隊長」ヲ「内務長 兼分隊長」ニ改ム

附 則

本令ハ昭和十八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、四五二頁参照)

内令第二千二百七十五號

海軍特別根據地隊編制標準中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

第一條第一項中「諸物件ハ之ヲ」ノ下ニ「内務科、」ヲ加ヘ「機關科、工作科、」ヲ削ル
第二章第一節ヲ第二節、第二節ヲ第三節、第三節ヲ第四節、第四節ヲ第五節トシ第一節トシテ左

内 令

二三七九

0668

ノ如ク加フ

第一節 内務科

第二條ノ二 内務科ニハ防備隊編制令中内務科ニ關スル規定ヲ準用ス

同章第五節ヲ第六節トシ同節中「機關科、工作科、」ヲ削ル

第八條中第五號及第六號ヲ削リ第一號ヲ第二號トシ以下第四號迄順次繰下ゲ第七號ヲ第六號、第八號ヲ第七號トシ第一號トシテ左ノ如ク加フ

- 一 内務科員ハ之ヲ一箇分隊以上トス

附則

本令ハ昭和十八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、一四二ノ一頁参照)

内令第二千二百七十六號

當分ノ間舞鶴海軍艦船部ニハ定員ヲ置カズ

本令ハ昭和十八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

0669

内令提
要登載

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二千二百七十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

本令ハ昭和十八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴鎮守府

特務士官(水)、(機) 附 一人

兵曹、機關兵曹 二人(特修兵適宜)

内令第二千二百七十八號

昭和十七年内令第六百二十號大東亞戰爭中横須賀海軍港務部長等一階上級ノ官等ヲ各其ノ定員ト爲
スコトヲ得ルノ件申左ノ通改正ス

内令

二三八一

0670



内令

二三八二

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

末尾ニ左ノ四號ヲ加フ

三十、舞鶴海軍病院長

三十一、沼津海軍工廠長

三十二、海軍航空本部第二部長

三十三、海軍大學校研究部部員一人

(内令提要卷一、四五〇ノ七頁)

内令第二千二百七十九號

驅逐隊編制中左ノ通改定セララル

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十二驅逐隊ノ項中「長月」ヲ削ル

0671

(別表第八)

第一海軍軍需部定員表

(昭和十八年内令第二千二百七十號)

考 備	計		附		部 員		支 部 長	長						
	特 務 士 官	士 官 十三人 内兼務四人	中 少 尉 (水)	中 少 尉 (機)	主 計 中 少 尉 (主)	主 計 中 少 尉 佐	兵科、主計科中佐 兵科、主計科中佐 兵科、主計科中佐 兼務四	少將、主計少將 兵科、主計科中佐						
一 部員タル士官ハ指定科別ニ依ラザルコトヲ得 二 部員タル兵科又ハ主計科士官ニハ夫々大尉(水)若ハ(機)又ハ主計大尉(主)ヲ以テ 充ツルコトヲ得 三 本表ノ外必要ニ應ジ部員トシテ兵科、軍醫科、主計科士官ヲ置キ他ニ本職アル者ヲ以テ 兼補スルコトヲ得 四 海軍大臣ハ必要ニ應ジ本表ノ定員ヲ臨時増減スルコトヲ得	兵	判 任 文 官	下 士 官	准 士 官	衛 生 兵	技 書 手 記	主 計 兵 曹	衛 生 兵 曹	工 作 兵 曹	機 關 兵 曹	兵 曹	機 關 兵 曹 長	兵 曹 長	
	二人	六人	五十二人	九人	二	一	五	十三	二	一	十八	十八	四	一

0672

(別表第八ノ二)

第二海軍軍需部定員表

(昭和十八年内令第二千二百七十號)

考 備	計		附		部 員		長	
	特 務 士 官	士 官	中 少 尉 (水)	中 少 尉 (機)	軍 醫 科 佐 尉 官	兵 科、主 計 科 中 少 佐	兵 科、主 計 科 大 中 佐	
一 部 員 タル 士 官 ハ 指 定 科 別 ニ 依 ラ ザ ル コ ト フ 得 二 海 軍 大 臣 ハ 必 要 ニ 應 ジ 本 表 ノ 定 員 ヲ 臨 時 増 減 ス ル コ ト フ 得 三 特 修 兵 ハ 適 宜 ト ス	三人	四人 内 兼 務 二 人	一	一	兼 務 一	二 内 兼 務 一	一	
	判 任 文 官	下 士 官	准 士 官	書 記	主 計 兵 曹	衛 生 兵 曹	機 關 兵 曹	兵 曹 長
	一人	十三人	四人	一	三	一	三	六
							二	二

0673

(別表第九ノ二)

(昭和十八年内令第二千二百七十號)

海南海軍軍需部定員表

考 備	計		附			部 員		長	
	特 務 士 官	士 官	主計中少尉(主)	中 少 尉(機)	中 少 尉(水)	軍醫科佐尉官	兵科、主計科中少佐	兵科、主計科大中佐	
一 部員タル士官ハ指定科別ニ依ラザルコトヲ得	三人	四人 <small>内兼務三人</small>	一	一	一	兼務一	二 <small>内兼務一</small>	一	
二 海軍大臣ハ必要ニ應ジ本表ノ定員ヲ臨時増減スルコトヲ得	判任文官	下士官	准士官	書記	主計兵曹	衛生兵曹	機關兵曹	兵曹長	機關兵曹長
三 特修兵ハ適宜トス	一人	十五人	四人	一	四	一	四	六	二 二

0674

内令提
要登載

内令提
要登載

(内令提要卷一、六八頁参照)

内令第二千二百八十號

潜水隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五十一潜水隊ノ項中「呂號第百三」ヲ削ル

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令第二千二百八十一號

佐世保鎮守府在籍

驅逐艦 長 月

右帝國驅逐隊籍ヨリ除カル

吳鎮守府在籍

呂號第百三潜水艦

内令

二三八三

0675

内令

三三八四

右帝國潜水艦籍ヨリ除カル

吳鎮守府在籍

海防艦 六 連

右帝國海防艦籍ヨリ除カル

吳鎮守府在籍

第十六號掃海艇

右帝國掃海艇籍ヨリ除カル

昭和十八年十一月一日
海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二千二百八十二號

軍艦 鳴海

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

吳鎮守府警備潜水艦

呂號第五百潜水艦

内令撰
要登載

0676

内令
要登載

右練習兼警備潜水艦ト定メラル

吳鎮守府第四豫備艦

軍艦 日向

右第一豫備艦ト定ム

横須賀鎮守府第四豫備驅逐艦

驅逐艦 春雨

右第一豫備驅逐艦ト定ム

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十八年十一月一日

内令第二千二百八十三號

特設掃海隊編制中左ノ通改定セラル

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十八年十一月一日

第二十五掃海隊ノ項ヲ削ル

内令

二三八五

0677

内令提
要登載

内令

(内令提要卷一、一四二ノ八頁参照)

内令第二千二百八十四號

昭和十七年内令第六百五十八號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀防備隊ノ項特設掃海艇ノ欄ニ「新東北丸、東郷丸」ヲ加フ

伊勢防備隊ノ項特設掃海艇ノ欄ニ「第三鷲丸、鳴尾丸」ヲ加フ

女川防備隊ノ項特設掃海艇ノ欄ニ「第一鷲丸、第二號金剛丸」ヲ加フ

佐世保海軍警備隊ノ項特設監視艇ノ欄「第一號海洋丸、第三南薩丸、有幸丸、大斗丸、北洋丸、第

十三長運丸、第二號日出丸、第五大成丸、山彌丸」ヲ削ル

佐世保防備隊ノ項特設監視艇ノ欄ニ「第一號海洋丸、第三南薩丸、有幸丸、大斗丸、北洋丸、第十

三長運丸、第二號日出丸、第五大成丸、山彌丸」ヲ加フ

(内令提要卷三、五〇ノ一五頁参照)

二三八六

0678

内令
登載

内令第二千二百八十五號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐伯防備隊ノ項敷設艇ノ欄「那沙美(吳)」ヲ削ル ↓ *8a13g*

佐世保防備隊ノ項敷設艇ノ欄「平島(佐)」ヲ削ル ×

第一根據地隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第五號(佐)」、「第十二號(佐)」ヲ削ル ×

第五特別根據地隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第八 根據地隊	那沙美(吳)				
------------	--------	--	--	--	--

第二十一特別根據地隊ノ項掃海特務艇ノ欄「第百五號(佐)」ヲ削ル ↓ *26a2g*

第二十四特別根據地隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第百十一號(舞)」ヲ削ル ×

第二十五特別根據地隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

内令

二三八七

0679

内令

第二十六特別根據地隊

参照 前記内令ハ特務隊ノ所屬ノ件ナリ

第百五號(佐)

二三八八

0680

内令提
要登載

内令第二千二百八十五號 (後送ス) 済

内令第二千二百八十六號

敷設艇 平 島

第五號驅潛特務艇

第十二號驅潛特務艇

第一百十一號驅潛特務艇

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メタル處之ヲ解ク

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メタル處之ヲ解ク

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提
要登載

内令第二千二百八十七號

特設監視艇隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二三八九

0681

内令提
要登載

内令

第一監視艇隊ノ項中「榆林丸、」ヲ削ル
第三監視艇隊ノ項中「品川丸、」ヲ削ル

(内令提要卷一、一四二ノ一〇頁参照)

内令第二千二百八十八號

右横須賀鎮守府所管ト定メラル

特設砲艦 南海

右特設砲艦トシ横須賀鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

汽船 江戸丸

右特設砲艦トシ佐世保鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解カル

汽船 長沙丸

✓ 漁船 榆林丸

右特設監視艇トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

✓ 同 品川丸

一三九〇

0682

右特設運送船(給糧船)	トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク	✓	汽船	東光丸
右特設運送船(雜用船)	トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク	✓	同	陽光丸
右特設運送船(雜用船)	トシ佐世保鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク	✓	同	北昭丸
右特設運送船(雜用船)	トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク	✓	汽船	會昌丸
右特設運送船(雜用船)	トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク	✓	汽船	屏東丸
右特設運送船(雜用船)	トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク	✓	汽船	康福丸
右特設運送船(雜用船)	トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク	✓	汽船	晴山丸
右特設運送船(雜用船)	トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク	✓	汽船	祐捷丸

昭和十八年十一月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二三九二

0683